

〔話すこと・聞くこと部会〕

第三学年 国語科学習指導案

日時 令和六年十月二十一日(月)

場所 郡上市立明宝中学校(三年生教室)

学級 三年生(男子六名・女子十名 計十六名)

授業者 藤村 茂将

一、単元名 「自らの考えを」 教材名 「合意形成に向けて話し合おう」

二、単元および教材について

本単元は、「話すこと・聞くこと」領域の学習である。身近な社会である地域の課題から、その課題の解決に繋がる一助となるよう話し合っていきたい。そして、互いの考えを生かしながら話し合い、合意形成に向かうための視点をもたせ、話をまとめる力をつけていきたい。そのために、単元を通して行う言語活動として「合意形成」を設定する。合意形成は、ある課題の解決に向けて話し合い、互いの意見に折り合いをつけ、納得のいく形で意見を一致させることである。互いの意見が違えば、相手が納得する考えや根拠を示す必要がある。譲れない部分もあると思うが、お互いの考えを尊重しながら納得できる点や共通点、妥協点を見つけたりして話し合い、まとめていく力を身に付けさせたい。

三、生徒の実態

【これまでの学習の様子から】

話し合いの中で、積極的に仲間と交流して意見を伝え合い、考えを広げることができる。また、そう考える根拠を明確にして意見を伝えることができる。しかし、話し合いが複雑になるにつれてどのように意見を言えばよいか分からなくなったり、様々な考えを関連づけて話したりすることができず、一部の生徒しか話せなくなることもある。また、仲間の意見を大切にするあまり、自分の考えを安易に譲ったり、取捨選択ができなかつたりする。

【全国学力状況調査の結果から】

全国学力状況調査の「話すこと・聞くこと」の正答率は全国や県を七割～十割上回っている。しかし、問題の中でも「話し合いの話題や発言を踏まえて自分の考えを書く」問題は正答率が低く、話題や展開を捉えながら、他者との発言と結びつけて考えをまとめることに弱さが見られた。

【生徒の意識調査から】

グループでの話し合いにおける意識調査では、「考えを共有しやすい」「意見を言いやすい」「自分の考えが広まる」といった良さを感じている生徒が多い。反対に、話し合いでの難しさや課題では、「話が複雑になるにつれて、意見が言えなくなる」の回答が最も多く、「話がずれていってしまう」「意見が複数出てくると、考えの一つにまとめられない」という回答が続いた。意見を整理したり、ねらいや何を根拠に意見を選択していくかなどの支援を行い、合意形成を図っていくうえで力をつけていきたい。

四、「生きてはたらく言語能力」の育成について

【知識及び技能】(2) 情報の扱い方に関する事項

(ア) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。

【思考力、判断力、表現力等】A 話すこと・聞くこと(1)

(オ) 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。

この指導事項について「合意形成」の特徴を踏まえて、目指す生徒の姿を次のように具体化した。

「生きてはたらく言語能力」の具体化

【知識及び技能】(2) 情報の扱い方に関する事項

(ア) 客観性や信頼性の高い資料を用いて、資料と繋げながら自分の考えをもつことができる。

【思考力、判断力、表現力等】A 話すこと・聞くこと(1)

(オ) 仲間の、意見への思いや背景を理解した上で情報を取捨選択しながら話し合い、効果や目的を確認しながら考えをまとめることができる。

五、研究に関わって

研究内容(1) 指導計画の工夫

②学ぶ魅力・必然があり、日常生活や社会生活につながる力を育む言語活動の設定

合意形成に向かうにあたって、グループでの意思決定が必要である。今回は、「リーフレットに入れることのできる内容は三分分の内容(三つ)」「時期をずらして全グループのものを置ける」「中学生らしいものである」「観光に来てくれる人に伝えるもの」という条件を設定し、話し合いが広がり過ぎず深い話し合いができるようにする。また話し合いを促進させるために、振興事務所の方に来ていただき、明宝の課題やこのまま人口減少が進んだときの状況などについて話をしていただく。また、より身近な問題であることを自覚させる。なお、「中学生らしい」とは、「生徒が住んでいるからこそ分かる明宝の魅力や、伝えられること」とする。

研究内容(2) 指導・援助の工夫

①生徒が目指すべき姿を明確にもつことのできるモデル提示

第一時に、合意形成というものはどういうものか仮のテーマで実際に話し合う。これにより、合意形成するとは何を経験したり、どういうことを大切にするとどううまく合意形成ができるかを共有したりする。こちらから、大切にすることを伝えるのではなく、経験からモデルをつくっていく。

②一人一人に必要な力を身に付ける個別最適な学びの実現

中間振り返りを行い、どうすると合意形成で一つのものになっていけそうかグループごとに振り返る。また、グループでの振り返り内容を全体でも共有し、他グループの状況を自分たちのグループの姿とも照らし合わせながら、合意形成ができるようにする。

研究内容(3) 評価の工夫

①学びの深まりを実感できる評価の工夫

第一時に行く合意形成のときにまとめた、合意形成をするうえでのポイント(柔軟に相手の意見を取り入れる・感情的になり過ぎない・相手の意見の思いや背景を聞き合う・議論を俯瞰的に見て意見をまとめる)を黒板に示す。その示したものをもとに振り返りを行い、本時に何ができたのか、これから合意形成をするうえでどんなことが必要なかを自覚し、今後に生かせるようにする。また、他教科や総合、特別活動などで合意形成を行った後に、振り返りやレポートを書き、国語以外の場で学習したことを実践して本時の姿と比較し、学びの深まりを実感できるようにする。

単元構想表 (ver.3.2)

学年 → ① ② ③ 領域 → A B C

言語活動例 → ア イ ウ 他 指導事項順

(第3学年) 単元名：「合意形成に向けて話し合おう」

指導者：明宝中学校 教諭 藤村 茂将

All Clear

言語活動例			学年	領域	記号	互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動。		All Clear					
指導事項			3年	A領域	イ	重点化	学習活動	評価規準	留意点 他	評価について	時	編	
学年	領域	記号	導入（学習への見通し）			○	重点化	・合意形成の話し合いを実際に行う。 ・合意形成を行ううえで、どんなことが大切なのか考え、共有する。 ・本単元で、合意形成の仕方や良さを理解することを伝える。	・仲間意見を繋げながら意見を伝え合い、粘り強く考えることができる。（振り返りの記述、生徒の様子）	<合意形成をする上でのポイント> ・柔軟に相手の意見を取り入れる ・感情的になり過ぎない ・相手の意見の思いや背景を聞き合う ・議論を俯瞰的に見て意見をまとめる	□指導に生かす評価	①	実践編
			話題の設定、情報の収集、内容の検討				・明宝振興事務所の方に来ていただき、地域の課題を聞く。 ・「明宝に住んでみたいと思えるために、中学生らしいリーフレットを作ってほしい」という依頼を受ける。	・地域の課題や未来の状況について理解し、本単元における見直しをもつ。（振り返りの記述、生徒の様子）	(指)「中学生らしいとはどういうことか共有をする。	□指導に生かす評価	②		
			話題の設定、情報の収集、内容の検討				○	・議題について、根拠を明確にしながリーフレットに入れる内容を考える。	・客観性や信頼性の高さを踏まえて根拠を明らかにしながら、リーフレットの内容を考えることができる。（ワークシート）	(指)根拠とした資料の客観性や信頼性を問いつつ、生徒が考えをもつことができるようにする。	□指導に生かす評価 ■記録に残す評価	③	
			話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有（話し合うこと）				◎	・互いの意見やそう考える背景を理解しながら、合意形成を行いグループでの考えをまとめていく。	・進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。（振り返りの記述、生徒の様子）	(評)判断や評価の根拠が明確になっているかどうか、資料を適切に引用できているかを文章の内容や話し合いの様子から評価する。	■記録に残す評価	④	
まとめ（学習の振り返り）													
関連する〔知識及び技能〕			3年	(2)	ア	情報と情報との関係		客観性や信頼性の高い資料を用いて、資料と繋げながら自分の考えをもつことができる。（ワークシート）			③	実践編	
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項						具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。							
学びに向かう力、人間性等に関する評価 (主体的に学習に取り組む態度)							合意形成に向けて、粘り強く考えを広げたり深めたりし、目的に沿って話し合いをしようとしている。（生徒の様子、振り返り）						

※「留意点 他」の記号…(指)指導に当たった留意点、(評)評価に対する留意点、(他)他の学習活動のアイデア、(教)教材・教具の工夫

七、本時のねらい

グループでの話し合いを通して、お互いの考えや提案を生かすことで目的に合ったものが作成できると気づき、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。

八、本時の展開（四／四）

<p>教師の働きかけや支援</p>	<p>学習活動</p>	<p>研究内容にかかわって</p>
<p>・ テーマと第一時に出た合意形成をするときのポイントを確認してみよう。</p> <p>・ 話型を事前に配布し、発言が苦手な生徒は必要に応じて活用できるようにする。</p> <p>・ 合意形成①で合意形成ができてしまったグループには、根拠や内容がどれでよいか問うていく。</p> <p>・ 前半の合意形成をしてみて、うまく進んだ部分とそうでないところがあつたと思う。どうしたらこれから合意ができていくかと思うか振り返ろう。</p> <p>・ 各グループからでた課題があるが、自分たちのグループはそれができていたか考えながら、後半の合意形成をしていこう。</p> <p>・ グループごとに入りたい内容と根拠がはっきりとしていましたね。合意形成のポイントから自分の姿を振り返り、何ができて何ができなかったか明らかにしよう。</p>	<p>◇本時の見通しをもつ。</p> <p>・ 今日、前回リーフレットに入れる中身を個人で考えたので、それぞれが考えたものをグループで話し合い、意見をまとめていく。</p> <p>・ テーマの確認「観光客が明宝に住んでみたいと思えるために、中学生らしいリーフレットを作る」</p> <p>◇本時の課題を提示し、条件の確認をする。</p> <p>課題 グループで提案をまとめよう。</p> <p>《条件》</p> <p>① 時期をずらして、全グループのリーフレットを置く。</p> <p>② 「中学生らしいリーフレット」というお願いが振興事務所の方からきている。</p> <p>③ 観光に来てくれる人に伝えるもの。</p> <p>④ 載せる内容は、三分分とする。</p> <p>◇グループごとに合意形成①を行う。</p> <p>・ それぞれが前時に考えたリーフレットに入りたい内容を伝えながら合意形成を行う。</p> <p>私はリーフレットの内容に、季節ごとの明宝の写真を入れたい。インターネットの移住するうえで何を基準に考えるかのアンケートで、「自然の中で過ごしたい」という意見が多かったから入れようと考えた。</p> <p>◇中間振り返り</p> <p>・ どうしたら合意できるかという視点で、話し合いの姿を振り返る。</p> <p>・ グループごとに出た振り返りを全体で共有する。</p> <p>◇グループごとに合意形成②を行う。</p> <p>中間振り返りで話し合ったことをもとに、再度合意形成を行う。</p> <p>◇全体交流</p> <p>・ まとまったことをホワイトボードに書き込み、一分以内で発表する。</p> <p>※私たちの班は、〽（内容）と〽（内容）と〽（内容）を入れようと考えました。それは、〽（理由）からです。</p> <p>◇個人で振り返りを行う。</p> <p>今日の話し合いでは、仲間の意見を大事にしながらも、目的や効果を確かめながら意見を取捨選択していくことができた。また、話の全体を見て、現状を確認しながら進めていくことができた。</p> <p>これからみんなで意見を決めていくときにも、話し合う観点を決め、話題がそれら目的を確かめたり、効果の高いものを考えたりしながら合意形成をしていきたい。</p>	<p>研究内容（2）</p> <p>・ リーフレットに入れる内容を選択するうえで根拠となりそうな情報を、タブレットや掲示を用いていつでも見えるようにする。</p> <p>・ 中間振り返りの時間を確保し、全体でも共有して後半にどう向かうとよいかをつかめるようにする。</p> <p>・ 第一時に確認した合意形成をするうえでポイントなど用いて、話し合いをうまくすすめているグループを紹介する。</p> <p>研究内容（3）</p> <p>・ 合意形成をするうえでポイントを示し、本時の中で意識できるようにする。</p> <p>・ 合意形成の中で四項目のうち何ができて、何ができなかったかを明らかにし、自覚できるようにする。</p> <p>・ 日常生活の場でどのようなときに合意形成が行われているか、どのように活用するとよいか、授業の最後に教師から話して共有を図る。</p> <p>・ 振り返りの視点を、「態度」「方法」の両面について振り返りができるようにする。</p> <p>評価規準【思・判・表A（才）】</p> <p>進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。（発言内容・振り返りの記述）</p> <p>A：仲間の主張点を踏まえて情報を取捨選択し、効果や目的を確認しながら話し合うことができています。</p> <p>B：仲間の意見と結び付けたり、効果の高さを考えたりしながら話し合うことができています。</p> <p>C：仲間と自分の意見の共通点を見出しながら話し合うことができています。</p>